

政策分析シート（令和8年度）

政策名	人が集う魅力あるまちの形成			政策No	06	部名	産業経済部		
関連部名				部長名	三枝	内線	440		
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市						
目的	観光振興を積極的に推進することで、地域経済・産業の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚、来訪者との交流による地域の活性化等を図り、「人が集う魅力あるまちの形成」を目指していく。								
指標	幸福実感指標名			指標の推移			指標に関する質問文		
		5年度	6年度	7年度					
	① まちの魅力	2.61	2.62	2.72	荒川区は、区外から人が訪れなくなる魅力のあるまちだと思いますか？				
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
	政策の成果とする指標名			指標の推移					指標に関する説明
		5年度	6年度	7年度	8年度見込み	目標値(8年度)			
	① 観光イベント来場者満足度	93.7	93.5	91.3	95.0	95.0	川の手荒川まつり来場者満足度(%)		
	②								
	③								
	④								
⑤									
⑥									
⑦									
(単位：千円)									
行政コスト計算書	勘定科目	6年度	7年度	差額	勘定科目	6年度	7年度	差額	
	給与関係費	52,340	59,257	6,917	地方税等	0	0	0	
	物件費	35,275	53,246	17,971	国庫支出金	81	0	▲ 81	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	5,148	5,873	725	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	33,350	40,767	7,417	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	419	419	0	その他行政収入	1	0	▲ 1	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,230	5,873	643	
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,557	5,825	2,268	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 119,711	▲ 153,641	▲ 33,930	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	124,941	159,514	34,573	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 119,711	▲ 153,641	▲ 33,930	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 119,711	▲ 153,641	▲ 33,930	
貸借対照表	勘定科目	6年度	7年度	差額	勘定科目	6年度	7年度	差額	
	流動資産				流動負債	2,755	2,958	203	
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	2,755	2,958	203	
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	19,050	20,740	1,690	
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	19,050	20,740	1,690	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	21,805	23,698	1,893	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 10,561	▲ 12,874	▲ 2,313	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 10,561	▲ 12,874	▲ 2,313	
その他の固定資産	11,244	10,824	▲ 420	負債及び正味財産の部合計	11,244	10,824	▲ 420		
資産の部合計	11,244	10,824	▲ 420						
財務諸表に関する特徴的事項等									
○物件費が増加しているのは、新たな観光マップの作成や、訪日外国人向け観光WEBサイトのモデルコース作成、また、産業観光推進事業及び日暮里駅前イベント広場活用事業等における人件費や資材の高騰によるものである。 ○補助費等が増加しているのは、川の手あらかわまつりにおいて、人件費等の高騰や観光イベント助成事業の申請件数の増加によるものである。									

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	○定住人口の回復や増加に向けた取組と並行して、交流人口を拡大することが、地域経済活動を活発にする有効な手段であり、国はもとより全国の自治体で観光振興が推進されている。 ○国では観光立国の実現を目指し、2030年の訪日外国人旅行者6,000万人の目標達成に向け、観光振興に取り組んでいる。
課題	○区においても、観光目的の訪日外国人が増加しており、受入環境の充実を図るとともに、観光資源の発掘やPRを積極的に行い、交流人口の拡大を図り、賑わいと活力あるまちづくりを進めることが求められている。 ○他自治体や関係機関等とも連携し、より一層観光振興への取組の拡大を図っていく必要がある。 ○外国人旅行者のニーズは消費型から体験型へシフトしており、多言語対応をはじめとした受入体制が伴った日本の文化や技術を体験することができる場の創出が求められている。
今後の方向性	○地域の活性化を図るため、新たな観光資源の発掘・形成などにより、観光振興を推進していく。 ○地域の観光資源を有機的に結び付け、周遊性を高める取組をさらに進めていく。 ○来訪者が安心して快適に楽しめるよう、満足度を高めるハード・ソフト両面の環境整備を進めていく。 ○近隣区や他自治体等との連携を強化し、事業を進めていくとともに、地域団体等民間による賑わい創出を支援していく。 ○デジタルを含めた様々なツールを活用し、区内外へ区の魅力や観光情報を発信していく。 ○懇談会等の提言を今後の計画づくりに活用していく。

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
観光資源の発掘とにぎわいの創出	重点的に推進	重点的に推進	新たな観光資源の発掘に取り組むとともに、集客力の高い魅力あるイベントの実施や区内事業者の支援により、区内外からの誘客を促進し、地域経済・産業の活性化を図ることが期待できることから、当該施策を重点的に推進する。
受入体制の充実と観光情報の発信	重点的に推進	重点的に推進	受入体制の充実を図るとともに、広く区の魅力を発信していくことで、区のイメージアップや来訪者の増加に繋げ、地域の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚など様々な効果が期待できることから、当該施策を重点的に推進する。